

「桜満開! (2)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

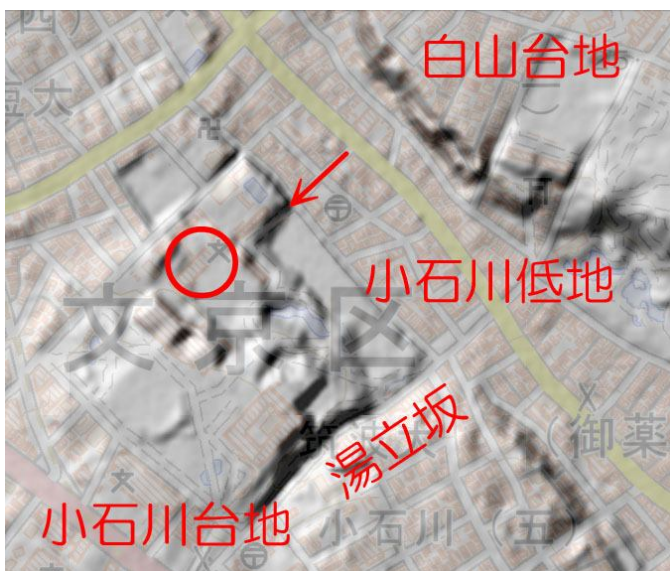
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

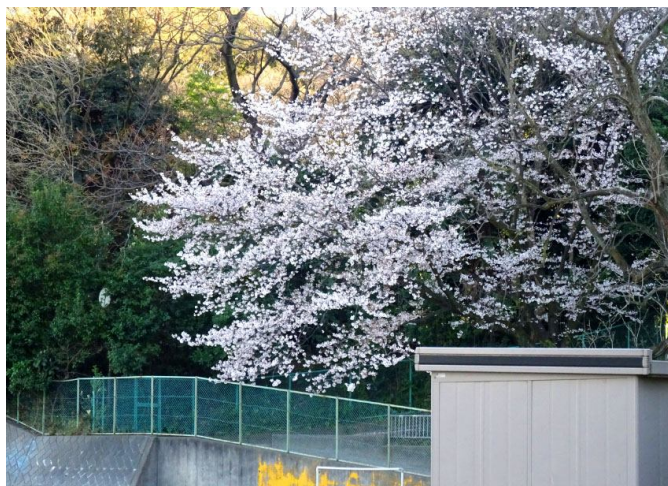
私は少し遠回りして、もう一つ小学校に寄ってみた。教育の森公園のはずれにある「筑波大学附属小学校」だ。この小学校の裏門にも、美しいサクラが咲くのだ。



これが筑波小の裏門から見た校舎の裏側と、サクラの木々だ。面白いのは、裏門から校舎までが、ゆるやかな上り坂になっていることだ。これは、このあたりの自然地形に由来している。



○が筑波小の位置、↓が写真を撮った位置と方向だ。筑波小は、小石川台地(武蔵野台地東端の舌状台地の一つ)と、小石川低地の段丘崖すれすれに位置していることがわかる。坂の左側(図の↓の右下の平地)にあるグラウンドは、平らにする為に、上段丘の一部を掘り下げたのだろう。グラウンドの縁の表土を剥せば、武蔵野台地の堆積層が観察できるにちがいない。



裏門の左奥にも、見事なサクラが見える。このサクラは、段丘崖の上(武蔵野台地上)に位置している。茗荷谷駅方面から通学する筑波小の子どもたちは、皆このサクラの下を通過して来るのだろう。



先日遠くの歩道橋から撮影した「跡見学園」の桜も満開。今回は正面から撮影できた。跡見のサクラは日中日当たりが良いので、満開を過ぎ、すでに散り始めていた。入学式に間に合わなくて、サクラも残念そうだった。



これがお茶大前の歩道橋。一般の人が渡ることは稀で、ほぼ本校の小学生専用のようにになっている。文京区では歩道橋そのものが珍しく、貴重な存在だ。